

地域気候センター研修セミナーの開催について ～アジア太平洋諸国の季節予報作成能力向上を目指して～

気象庁アジア太平洋気候センターは、アジア太平洋地域の 11 か国の気象機関から季節予報担当者を招聘し、同センターが世界気象機関 (WMO) の地域気候センター (RCC) となって初めての研修セミナーを、気象庁本庁で開催します。

期間：平成 21 年 12 月 1 日 (火) ～ 4 日 (金)

目的：地球温暖化の進展に伴い、極端な高温や熱波、大雨などの頻度の増加が懸念される中、季節予報の重要性が増している。この季節予報を適確に作成するためには、まず、気候の実況を解析し把握することが必要である。本研修により、各国の季節予報を担当する現業部門の職員が、気象学の知見に基づいた気候解析技術を身につけ、自ら必要な資料を作成できるようになることを目指す。

内容：気候の監視に関する講義、アジア太平洋気候センターが提供する資料とその利用法の紹介、気候解析ツールの解説、気候解析実習、解析実習に基づいたプレゼンテーション資料作成及び発表。

参加国：以下の 11 か国から参加 (順不同)

モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ、ラオス、ベトナム、タイ、マレーシア、インドネシア、パプアニューギニア、フィリピン

* 地域気候センター (RCC) とは

RCC は地域内の気象機関に対して、季節予報や気候情報に必要な各種支援資料の提供や人材育成を行う WMO の機関。気象庁のアジア太平洋気候センターは、2009 年 6 月に世界に先駆けてアジア地区 (第 II 地区) の RCC として正式に WMO から承認された。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁地球環境・海洋部気候情報課アジア太平洋気候センター
代表 03-3212-8341 (内線 3166)